平安時代

名前

問1　平清盛が率いる平氏は、急速な勢力拡大に対して反発した源氏との間で、全国規模の争乱を繰り広げました。平氏が最終的に滅亡した、現在の山口県に位置する戦いの場所として適切なものを答えなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 一の谷　2. 壇ノ浦　3. 富士川　4. 屋島

問2　平安時代末期、現在の岩手県平泉を中心に三代にわたって栄えた奥州藤原氏。彼らが、浄土信仰に基づいて平泉に建立し、建物全体が金箔で覆われていることで知られる代表的な建築物を何というか。（2022年 愛知県公立入試 類似）

1. 中尊寺金色堂　2. 平等院鳳凰堂　3. 鹿苑寺金閣　4. 慈照寺銀閣

問3　平安時代に藤原道長が全盛期を築いた「摂関政治」において、藤原氏が政治の実権を握り続けることができた仕組みとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の祖父として政治を補佐する仕組み
2. 天皇が位を譲って上皇となったあとも、政治の窓口である「院」において実権を握り続け、藤原氏を排除する仕組み
3. 家柄に関係なく、試験によって優秀な人材を官僚として採用し、藤原氏の配下として政府の要職に配置する仕組み
4. 地方の武士を都に集めて軍事力を強化し、天皇を武力で威圧することで、無理やり政治の全権を委譲させる仕組み

問4　平安時代初期に最澄や空海によってもたらされた新しい仏教は、それまでの奈良時代の仏教と異なり、政治の場から離れて山の中で厳しい修行を行うことを重視しました。最澄が伝えた教えとその活動に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 高野山に金剛峯寺を建立して真言宗を広め、加持祈祷などの密教の儀式を体系化した。
2. 唐から日本へ正しい戒律を伝えるために、何度も遭難を繰り返しながら来日し、唐招提寺を建立した。
3. 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、国家の平安を祈るとともに、多くの優れた僧を育成した。
4. 朝廷から布教を禁じられながらも、溜池の造成や橋の架け替えなどの社会事業を通じて民衆に教えを説いた。

問5　平清盛が、平氏の経済的基盤を強化するために行った経済政策として、正しい事実はどれですか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）

1. 大輪田泊（現在の神戸市）を修築し、中国の宋（北宋・南宋）との貿易を積極的に推進した。
2. 堺や博多の商人に特権を与え、各地の関所を撤廃して楽市・楽座などの商業振興を行った。
3. 博多の港に「金印」を保管する施設を作り、中国の漢（後漢）から金や絹を輸入した。
4. 長崎の出島にオランダ商館を移し、幕府が貿易の利益を独占する体制を整えた。

問6　平安時代初期、最澄が唐から伝えた教えをもとに、比叡山延暦寺を拠点として日本に広めた仏教の宗派を何といいますか。（2018年 和歌山県公立入試 類似）

1. 浄土宗　2. 禅宗　3. 天台宗　4. 真言宗

問7　平安時代の中期から後期にかけて、貴族から民衆の間へと急速に広まった浄土信仰（浄土教）の考え方や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

1. 座禅によって精神を集中させることで、自分自身の力で悟りを開き、厳しい社会を生き抜こうとした。
2. 法華経の教えを最高の経典とし、題目を唱えることで現世の国家の安泰と平和を祈願した。
3. 阿弥陀仏の救いを信じ、念仏を唱えることで、死後に苦しみのない世界へ生まれ変わることを願った。
4. 厳しい修行を積んだ僧侶が加持祈祷を行うことで、病気の快復や災難を避けるといった現世での利益を求めた。

問8　平安時代後期に白河上皇が始めた、天皇が位を譲った後も上皇（太上天皇）として、摂政や関白の力を抑えながら政治の実権を握る形態を何というか、名称を答えなさい。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 武家政治　2. 摂関政治　3. 院政　4. 親政

問9　平安時代末期、武家として初めて太政大臣の地位に就いた平清盛が、兵庫の「大輪田泊」を修築して積極的に推進した、大陸の王朝との貿易について述べた文として正しいものはどれか。（2026年 静岡県公立入試 類似）

1. 明の皇帝から日本国王に封じられたことをきっかけに、勘合という札を用いて倭寇と区別しながら貿易を行った。
2. 宋との貿易を盛んに行い、輸入された大量の銅銭は日本国内で貨幣として流通し、経済の活性化につながった。
3. 唐との貿易を再開し、遣唐使を通じて最新の律令制度や仏教文化を導入することで、中央集権国家の確立を狙った。
4. 元の侵攻に備えるため、大陸との貿易を厳しく制限し、博多に防塁を築いて沿岸部の警備を強化した。

問10　平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に、それまでの中国（唐）の影響から脱して、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化が生まれました。この文化を何と呼びますか。（2019年 富山県公立入試 類似）

1. 天平文化　2. 飛鳥文化　3. 国風文化　4. 元禄文化

問11　現在の一万円札の裏面には、ある建築物の屋根に据えられた「鳳凰像」が描かれています。この鳳凰像が象徴する建築物が建立された当時の日本の政治状況と、その背景にある思想について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 徳川家康が江戸幕府を開いて社会の安定がもたらされ、幕府の統治を正当化するために儒教の一派である朱子学が奨励された。
2. 藤原氏が摂政や関白の職を独占する摂関政治が行われ、貴族の間で極楽浄土への往生を願う浄土信仰が広まった。
3. 源頼朝が鎌倉に幕府を開いて武家政治が始まり、厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗が武士の間で流行した。
4. 聖武天皇が国ごとに国分寺を建立して中央集権化を図り、仏教の力で国家を守ろうとする鎮護国家の思想が定着した。

問12　平安時代中期、藤原道長や頼通の親子は、自分の娘を天皇の后とし、生まれた子が天皇になると、その外戚として政治の実権を握った。天皇が幼いときは摂政、成長してからは関白の職について行われたこの政治形態を何というか。（2024年 青森県公立入試 類似）

1. 院政　2. 摂関政治　3. 武家政治　4. 執権政治

問13　平清盛が、それまでの慣例であった九州の太宰府などを通じた形式ではなく、自ら拠点を置く福原（現在の神戸市）に近い大輪田泊を整備し、日宋貿易を主導した最大の目的は何ですか。（2020年 高知県公立入試 類似）

1. 貿易による膨大な利益を独占し、平氏一族の経済的・政治的な勢力を強化するため
2. 小野妹子が伝えたとされる仏教建築の技術を導入し、日本最大の寺院を建立するため
3. 白村江の戦いでの敗北を受け、大陸からの侵攻に備えて瀬戸内海の防衛を固めるため
4. 卑弥呼の時代から続く中国皇帝への朝貢形式を復活させ、国内の不満を逸らすため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 壇ノ浦	源頼朝が挙兵した後、平氏は源義経らによって西へと追い詰められました。1185年、山口県の下関にある壇ノ浦で行われた海戦に敗れ、平氏政権は完全に滅びました。
問2	答え 1 中尊寺金色堂	奥州藤原氏は、12世紀の東北地方で強力な勢力を誇った豪族です。初代清衡によって建立されたこの仏堂は、皆金色（皆金色の装飾）の名の通り、内外が金箔で覆われています。当時の東北地方の豊かな経済力と、戦乱のない理想郷を願う浄土信仰を象徴する文化財です。
問3	答え 1 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の祖父として政治を補佐する仕組み	藤原氏は、娘を天皇の后（きさき）にするという婚姻関係を繰り返すことで、天皇との親戚関係（外戚関係）を築きました。これにより、天皇が幼少のときは「摂政」、成人したあとは「関白」という役職に就き、政治の実権を独占しました。藤原道長は4人の娘を次々と天皇の后にすることで、この体制の全盛期を築きました。選択肢にある武力による支配や、天皇の退位後に実権を握る院政とは異なる、婚姻を軸とした政治体制です。
問4	答え 3 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、国家の平安を祈るとともに、多くの優れた僧を育成した。	平安時代初期の仏教は、奈良時代の僧侶が政治に深く関与しすぎた反省から、都から離れた山岳地帯に寺院を構える傾向がありました。最澄が比叡山に建てた延暦寺は、単なる修行の場としてだけでなく、当時の学問の最高府としての役割も果たし、日本仏教の発展に大きく寄与しました。なお、社会事業を行ったのは奈良時代の行基、戒律を伝えたのは唐の鑑真です。
問5	答え 1 大輪田泊（現在の神戸市）を修築し、中国の宋（北宋・南宋）との貿易を積極的に推進した。	平清盛は、武力だけでなく経済力によって権力を維持しようと考えました。当時、中国大陸を支配していた宋（南宋）との貿易（日宋貿易）に目をつけ、大型船が入港できるように現在の神戸市にあたる大輪田泊を大規模に改修しました。この貿易を通じて、日本からは金や硫黄などを輸出し、宋からは宋銭（銅銭）や絹織物、陶磁器などを輸入しました。特に宋銭が国内に大量に流入したことは、後の日本の貨幣経済の発展に大きな影響を与えました。
問6	答え 3 天台宗	最澄は804年に遣唐使とともに唐へ渡り、帰国後、比叡山延暦寺を総本山として天台宗を開きました。この宗派は、後に鎌倉新仏教を創始する法然や親鸞、道元、日蓮らが修行した場所としても知られ、日本仏教の歴史において極めて重要な役割を果たしました。
問7	答え 3 阿弥陀仏の救いを信じ、念仏を唱えることで、死後に苦しみのない世界へ生まれ変わることを願った。	平安時代後期には、仏教の教えが衰える「末法」の世が来るとする末法思想が広まり、人々の間で死後の不安が高まりました。これに対し、阿弥陀仏にすがり念仏を唱えることで極楽浄土に救われるという浄土信仰が支持を集め、平等院鳳凰堂のような建築物も造られました。座禅は鎌倉時代の禅宗、題目は同じく鎌倉時代の日蓮宗、現世利益を重視する傾向は平安初期の密教などで強く見られる特徴です。
問8	答え 3 院政	1086年に白河上皇が始めた政治体制です。それまで藤原氏が摂政や関白として政治を動かしていた摂関政治に対し、天皇の父や祖父である上皇が自ら政治を行うことで、藤原氏の影響力を排除し、皇室に実権を取り戻そうとしました。
問9	答え 2 宋との貿易を盛んに行い、輸入された大量の銅銭は日本国内で貨幣として流通し、経済の活性化につながった。	平清盛は、自身の権力基盤を強化するために日宋貿易を主導しました。現在の神戸市にあたる大輪田泊を整備して大型船の出入港を可能にし、宋から輸入された「宋銭（銅銭）」は国内で広く使われるようになり、貨幣経済の発展に大きく寄与しました。他の選択肢にある「唐」は平安時代中期以前、「元」は鎌倉時代、「明」は室町時代の出来事であり、時代背景が異なります。
問10	答え 3 国風文化	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が停止されたことで、中国との公的な交流が途絶えました。これをきっかけに、それまでの唐の影響を強く受けた文化から、日本独自の感性を反映した文化へと発展しました。
問11	答え 2 藤原氏が摂政や関白の職を独占する摂関政治が行われ、貴族の間で極楽浄土への往生を願う浄土信仰が広まった。	平等院鳳凰堂は、平安時代後期の1053年に藤原頼通によって建立されました。この時期は藤原氏が摂政や関白として権力を握る摂関政治の全盛期にあたります。当時の社会には末法思想が広まっており、死後に阿弥陀如来のいる極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が貴族から庶民まで浸透していました。鳳凰堂はその極楽浄土の様子をこの世に再現しようとした建築物です。
問12	答え 2 摂関政治	藤原氏が「摂政」と「関白」という重要な職について行った政治であるため、摂関政治と呼ばれます。院政は白河上皇などが天皇を退位した後に行った政治、武家政治は平清盛や源頼朝以降の武士による政治、執権政治は鎌倉幕府において北条氏が補佐役として行った政治です。
問13	答え 1 貿易による膨大な利益を独占し、平氏一族の経済的・政治的な勢力を強化するため	武士として初めて政治の実権を握った平清盛は、従来の荘園からの年貢だけに頼るのではなく、日宋貿易による莫大な利益に着目しました。大輪田泊を整備して宋の商船を直接引き入れることで、経済的な基盤を固め、平氏全盛の時代を築く原動力としました。他の選択肢にある「白村江の戦い」は7世紀、「卑弥呼」は3世紀、「小野妹子」は7世紀初頭の出来事であり、時代が異なります。